

北朝鮮による弾道ミサイル発射にともなうJアラートへの対応について

弾道ミサイルは、極めて短時間で着弾します。万が一、弾道ミサイルが着弾した場合には、爆風や破片等による被害が想定されます。弾道ミサイルが日本に飛来する可能性がある場合は、全国瞬時警報システム(Jアラート)を通じて、災害情報スピーカーで特別なサイレン音とともにメッセージを流すほか、緊急速報メール等により緊急情報が伝達されます。

Jアラート等を通じて緊急情報が発信された場合の対応について

【Jアラートの例】Jアラート(ミサイル発射情報・避難の呼びかけ)

- ・ミサイル発射。ミサイル発射。北朝鮮からミサイルが発射された模様です。
- ・建物の中、又は地下に避難してください。

(1) 生徒が登校する前に緊急情報が発信された場合

自宅待機とします。安全確認ができれば登校します。

ア 登校するまでに安全確認がされている場合は、平常どおりの始業とします。

イ 午前9時半までに安全確認がされた場合は、確認後2時間を経てから授業を開始します。

なお、給食は準備しますが、場合によっては品目、品数等の変更をすることがあります。

ウ 午前9時半を過ぎても安全確認ができない場合は、臨時休業とします。

※次の2つの情報が流れたら、安全確認ができたことになります。

Jアラート(ミサイル通過情報・落下場所等についての情報)

- ・ミサイル通過。ミサイル通過。先ほどのミサイルは〇〇地方から〇〇へ通過した模様です。
- ・先ほどのミサイルは、〇〇海に落下した模様です。

(2) 生徒が登下校中に緊急情報が発信された場合

ア 近くの建物(コンクリート造り等頑丈な建物が望ましいが、頑丈な建物がなければそれ以外の建物でも構わない)や地下等などに避難する。

イ 近くに適当な建物がない場合は、周囲の状況を十分に確認して、物が「落ちてこない、倒れてこない、移動してこない」物陰に身を隠すか、地面に伏せて頭部を守る。

※ブロック塀や屋根瓦、自動販売機、ガラス、外壁、電線等の落下物や転倒物等に注意する。

安全確認ができれば登下校します。(登校中⇒学校へ、下校中⇒自宅へ)

(3) 生徒が登校してから緊急情報が発信された場合

安全確認ができるまで学校内で避難態勢を続けます。

ア 被害がないと判断された場合は、そのまま授業を再開します。

イ 安全確認ができた時間によって、保護者への引き渡しを行うこともあります。その際には、緊急メールでお知らせします。

ウ 被害がある場合は、学校内で避難態勢を続け、以後の情報収集に努め、行政からの指示に従い行動します。

Jアラートのメッセージが流れたら、直ちに以下の行動をとります。

屋内にいた場合

- できるだけ窓から離れ、できれば窓のない部屋に移動する。
- 着弾の恐れがある場合は、以下のように行動する。
 - ・教室等の机のある場所では、机の下に隠れる。
 - ・机のない場所では、イス等の落下物を防げる物の下に隠れる。
 - ・隠れるものが何もない場所では、上から物が落ちてこない、横から物が倒れてこない、移動してこない場所に移動し、低い姿勢で、カバン等で頭部を守る。

屋外にいた場合

- 体育・部活動等では、速やかに教室等の屋内に避難する。
 - 近くに適当な建物がない場合は、物陰に身を隠すか地面に伏せ、頭部を守る。
- ※詳細は、国民保護ポータルサイト【<http://www.kokuminhogo.go.jp/>】を参照

【万が一、近くにミサイルが着弾した場合】

- ・弾頭の種類に応じて被害の様相や対応が大きく異なるため、情報収集に努め、行政からの指示に従って行動する。
- ・屋外にいる場合は、口と鼻をハンカチで覆い、現場から直ちに離れ、密閉性の高い屋内または風上へ避難する。
- ・屋内にいる場合は、換気扇を止め、窓を閉め、目張りをして室内を密閉する。
- ・被害の内容が明らかになったら、新たな指示に従って行動する。